

平成 27 年度 中郷小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

5月26日(火)に開催された「中郷小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)



ご参加ありがとうございました。

【当日参加団体一覧】

団体名		
安久町内会	保護司会	エコリーダー
鶴喰自治会	交通安全母の会	体育振興会
梅名自治会	中郷小学校	防犯サポーター
御園自治会	中郷小学校 PTA	地域安全推進員
民生委員・児童委員	中郷西中学校	八反畑子ども会
八鶴悠和会	中郷西中学校 PTA	鶴喰子ども会
中郷地区地域包括支援センター		

※当日参加者 24 名

【地域の情報交換】



～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力のお願い～

- 中郷小学校：今年度、学校支援地域本部を立ち上げます。ご協力下さい。
- 中郷西中学校：子どもの問題行動(喫煙、遅刻など)を見かけたら、声かけをお願いしたい。
- 梅名自治会：10月上旬に3日間の通学合宿を実施。自治会役員、PTAが協力している。
- 保護司会：7月「社会を明るくする運動」強化月間。7/1街頭宣伝実施。関心を持ってほしい。
- 体育振興会：体育祭を6/21(日)に中郷西中学校で開催。選手集めに苦労している。ぜひご協力ください。

<会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
① 中学生が活躍する防災訓練を企画し、取り組み始めよう！	8人
② 地域で活動している団体同士をつなぐ場を作ろう！	8人
③ 子どもをほめて、しかって、皆で育てる地域にするには？	7人
④ その他	0人

※アンケートの結果、テーマ①②について話し合いました。(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ①

「中学生が活躍する防災訓練を企画し、取り組み始めよう！」

今年の防災訓練への中学生参加率を 90%^{*}にすることを目標に話し合いを進めました。

(※中学生参加率：一昨年 60%、昨年 77%)

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
中学生が訓練でやりたい事	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生参加率 一昨年 60%→昨年 77%→今年 90%目標 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生がやりたいと思っている内容をできる限り実現する。 ・せっかく実施するならば、訓練内容についても、事前に声かけ（宣伝）し、参加意欲を湧かせる。 ○「中学生がやりたいことベスト3」 (中郷西中アンケート結果より) ★消防車に乗る ★エンジンをかけて放水 ★炊き出しでご飯を食べる <その他少数意見> 体育館、公民館に泊まる
防災訓練と運動会を合同開催、別開催	<p>合同開催が良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災訓練と運動会を一緒に実施している。 ●中学生は真面目だけでは、参加しない。面白さも必要。 ・小中学生が参加しているが、町内全員参加するようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでどおり地区の運動会と一緒にいう。 ●楽しく学ぶ。導入は遊びから、最後は真剣な訓練で終える。 ・運動会の出場種目も増やし、参加してもらおう。 ・競争型のプログラムとし、得点に入れる。 ・スタンプラリー方式で全プログラムを体験してもらおう。 ・運動会のお手伝いもしてもらおう。 ・学校、家庭でも声かけ。 ・前もって全員が参加できるように、組長を集めて説明し、家族全員が参加できるようにする。
	<p>別開催が良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運動会と一緒にだから、時間が少ない。 ●訓練が中途半端になる。 ・昨年は昼に炊き出しのご飯が配られただけ。 ・時間不足により、結局、三角巾は結べなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●別に行うと良い。 ●今後を考えると、運動会と別日にする ・子どもに炊き出しをやらせたい。 ・中学生のやりたい事を取り入れるなら運動会とは別の方が良い。しっかり時間をとる。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
	区割問題	<ul style="list-style-type: none"> ●運動会の会場と実際の避難所が違うので、混乱する人もいます。 ●小学校区と避難先が違う。 	
見るだけでなく実のある訓練に	参加証明の活用	・参加証明は効果的だが、印をもらって帰ってしまう。または見るだけ。	・参加証明は訓練後に渡すようにする。
	友だち同士の参加	・中学生は友だちと一緒にならば、訓練に参加する。	・帰らないように、中学生を集めて訓練させる。
	技術の体得	・(AED) 体験だけでは意味がない。	・AEDの初級ライセンスを取得させる。
	親から子どもへ呼びかけ	・子どもは自分から「やりたい」と、手をあげない。大人が指名して子どもに消火器の訓練をやらせたところ、好評だった。	<ul style="list-style-type: none"> ●親の教育。親が正しい情報を子ども達へ伝える。 ・大人から子どもへ積極的に勧める。 ・中学生と大人と一緒に活動し、わからない時は先導しながら実践。
	地域でやる意味	<ul style="list-style-type: none"> ●訓練を地域でやる意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の子どもの同士・大人同士が知り合う。とても大切なこと。 ・防災訓練を通じて、地域の方と知り、将来消防団に入ってもらおう。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生への期待度が高すぎる。前年度は、医療の支援活動を行ったが、責任の所在はどうなるのか。 ・中郷西中には、地域ごとの中学生の名簿がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名簿を活用できるので、必要があれば学校に言ってほしい。(中郷西中学校)

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇中学生がやりたいこと（中学生アンケートの結果参照）を各町内会の防災訓練で取り入れてみよう！
- ◇運動会と防災訓練の合同開催にはメリットとデメリットがある。それらをきちんと議論して各町内会の訓練を企画しよう！
- ◇「参加証明」は効果的だが、証明印を押すタイミング等を考え、中学生がただ単に会場にいるだけでなく、訓練にきちんと参加できる工夫をしよう！



今回の話し合いで出された意見を参考にして、
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！

テーマ②

「地域で活動している団体同士をつなぐ場を作ろう！」

参加者のこれまでの体験等を基に、団体同士をつなぐ場として「どんなことが必要か」また「どんな事なら出来るのか」、話し合いが進みました。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
情報共有の場がほしい		<ul style="list-style-type: none"> ●地域で今どんな事が起きているのか、地域情報を共有できる場がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員、自治会等を連携し独居高齢者の見守りや防災について、情報共有ができる場。
様々な人との繋がりを作りたい	つながる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の一覧はあるが、集合できる場を作ってほしい。 ・地域の人が繋がってほしい。 ・人とのつながりを作っていき場。知らない人と知り合える。 ・悩みを聞いてもらい、相談できるような集まり。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方々が互いにつながる組織があれば、日常的に子どもからお年寄りまで顔のわかる活動ができると思う。 ●代表者の集まりを定期的を開催する。
	各団体の活動へ参加	<ul style="list-style-type: none"> ・中郷小学校区安全会議が10年間行われてきたが、参加者に老人会や中学生の代表は入っていない。防災関係にとって参加が必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●他団体もオブザーバーとして参加できるようにすると、参加しやすい。人と人とのつながりができ、団体同士のつながりが生じる。 ・各団体が活動している場に参加を呼び掛ける。 ・各団体の会合の日をお互いに伝え、会合を誰にでも公開する。
	名簿づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・何をしている団体かわからない。 ●団体の名称と活動内容がわかるもの。責任の部署を明確にしたものがほしい ・(個人情報)は) 守秘義務があるが、共有できるようにならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域とつながるために、昨年度お願いした「地域の活動団体一覧表」を作ってほしい。
情報の共有・伝達方法		<ul style="list-style-type: none"> ・お便りを郵送ではなく、生徒からの手渡しを復活させたい。運動会の案内など子どもが届けてくれたらうれしい。 ・(独居高齢者の情報等は) 個人情報の問題があり、どのように連携できるか。 ・地域の中で、非行等の情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の職員は数年で異動してしまう。学校主導ではなく、地域がつながり地域主導が望ましい。

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
各役員の任期が短い	<ul style="list-style-type: none"> ・役員が毎年変わる。会の目的、目標がわからない。 ・町内会長は一年で交代してしまう。一年では何もできない。 ・町内会長は忙しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誰が関わってもわかるように、目的、目標を明確にしておく。 ●永年活動できる人に参加してもらい、継続を図ることができる。 ・会の役員として永く活動できる人を選出する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の実感はない。中学生が防災会議に出たとしても活きた物は得られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは被災地に行って見てほしい。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇多団体が参加する集まりを定期的な開催、他団体へのオブザーバー参加、会議情報の公開、参加の呼びかけ等、地域の情報や課題共有ができる機会を広げよう！
- ◇誰にでもわかるように会の目的・目標を明確に示そう。更に「地域の活動団体一覧表づくり」に取り組んでみよう！
- ◇連携するにあたって、役員任期が短く忙しい等の課題がある。永年活動ができる人を組織のメンバーに選出する等、活動がきちんと継続できる体制に見直そう！

今回の話し合いで出された意見を参考にして、
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！



中学生が活躍する防災訓練と企画し.

中郷小学校区
H27.5.26

参加率

60% → 77%

目指せ

90%

取り組み始めよう!!

声かけ

運動会と一緒

楽しく

参加率を上げる球

3か機訓練好評だった

友達かいは一緒に参加する

④地域との関係がある

活用してあるので学校にきて

中学生の意見(アンケート)

中学生の意見(アンケート) 声かけ

中学生の意見(アンケート) 声かけ

これめめでは参加しない

参加証明は訓練後下書き(PTAの協力)

中学生と集めて訓練させる(準備は済ませる)

見直し

親は同じにいるので子が何をやるかわからない

親の教育

中学生と大人でいっしょに活動しれない場合は家庭で実践

親が正しい情報を知りたい

子供は自分から手を回す

大人の支援

中学生の意見(アンケート)

中学生の意見(アンケート)

時間不足 内容が薄い

準備は済ませる

準備は済ませる

ベスト3!!

中学生の希望 消防車の見学

中学生の希望 エンジンルーム見学

中学生の希望 決まらずに決まらばいい

中学生の意見(アンケート)

運動会と分ける

運動会と分ける

運動会と分ける

実際に試してみたい

地域でやる意味

地域でやる意味

地域で活動している団体同士をつなぐ場を作ろう!!

中郷小学校区
H27.5.26

課題

1年任期の任期制

地域の人が70%程度

町内会長は忙しい

災害の被害が無い 中学生に被災地に行ってもら

人とのつながりを作りたい

代表者の集まり

知り合いと知り合

地域の現状を知りたい

個人情報の問題

地域の課題の共有

お便りを郵送

学校主導ではなく生徒の主導(復活)

目的目標を明確に

各団体の活動内容がわかる

団体の一覧がほしい

多回にわたって連絡

個人情報問題